



たちばなっ子

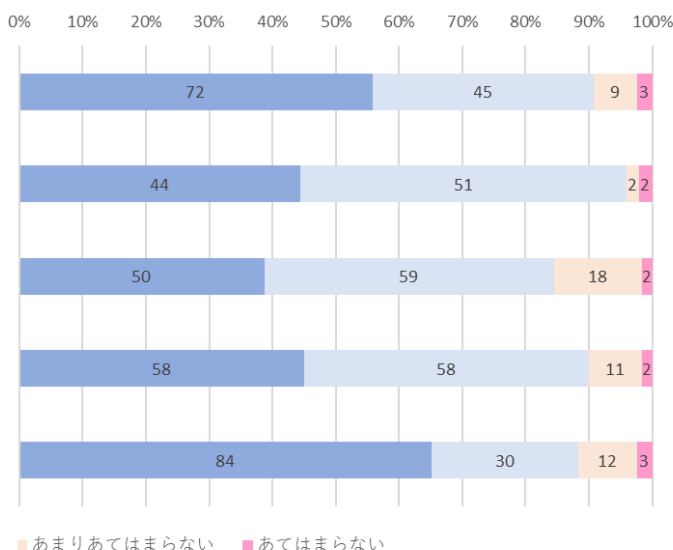
橘小学校だより
令和8年3月12日

後期の学校評価アンケートの結果をお知らせします

2学期末に実施しました、学校生活に対する児童対象アンケートと、保護者対象アンケートの結果をお知らせします。この結果を生かして教育活動の見直しを行い、保護者の皆様や地域の方々とともに、児童がいきいきと活動できる学校づくりをさらに進めていきたいと思っています。

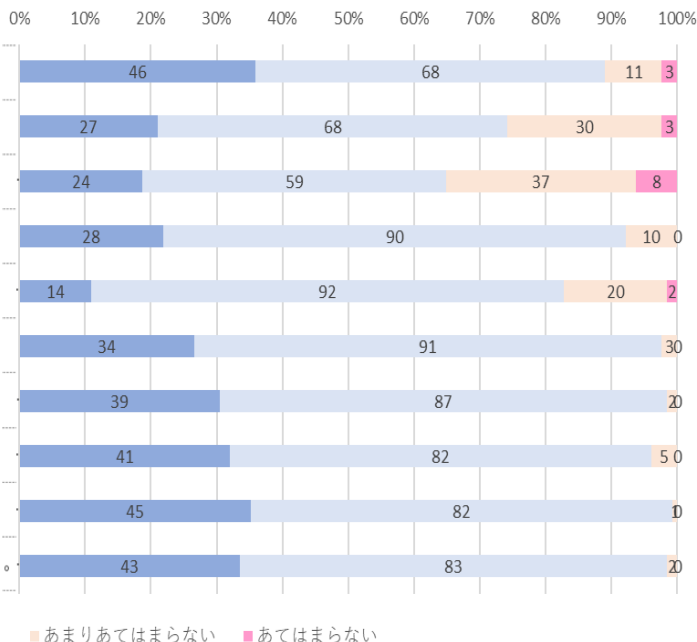
児童アンケートの結果

1. 学校は楽しい。
2. 児童会活動、委員会活動、学級活動において、力を合わせてよりよい学校・学級づくりに進んで取り組めた
3. 自分にはよいところがある。
4. 町の先生との学習や地域についての学習・活動に興味をもって取り組んでいる。
5. 自分からすすんであいさつをしている。



保護者アンケートの結果

1. お子様は「学校は楽しい」と言っている。
2. お子様は進んで挨拶をしている。
3. お子様は、学年×10分程度の家庭学習（宿題、自学ノート等）に取り組んでいる。
4. ご家庭では、お子様のよいところをほめるよう心がけている。
5. ご家庭では、お子様の生活習慣づくりに心がけている。（早寝・早起き・朝ごはん、TVやゲームの時間、SNS等のルール）
6. 学校は、様々な教育活動を通して学力向上に努めている。
7. 学校は、様々な教育活動を通して豊かな心の育成に努めている。（道徳教育、地域学習、児童会活動、縦割り活動等）
8. 学校は、体力向上や基本的な生活習慣の確立など、健やかな体の育成に努めている。（目の健康、はげまし活動、げんきっカード等）
9. 学校は、児童が安心して生活できる環境づくりに努めている。（環境美化、メール配信、避難訓練、交通安全教室、見守り隊との連携等）
10. 学校は、保護者との相互理解に努め、相談や連絡した事柄について適切に対応している。（連絡帳、個人懇談、教育相談、健康相談、カウンセラー等）



アンケート結果から

【学習・生活習慣について】児童アンケート4、保護者アンケート3・5・6

昨年度とほぼ変わらず、90%以上の児童が、「町の先生との学習や地域についての学習や活動に興味をもって取り組んでいる」に肯定的な回答を示しています。また、保護者の皆様からも「学校は、様々な教育活動を通して学力向上に努めている」に97.7%の肯定的回答をいただいています。充実した授業づくりに、来年度も継続して取り組んでいきます。

保護者アンケートから、家庭学習や生活習慣づくり（SNSのルール作り）に苦慮されていることが伺えます。子どもたちからは、習い事との両立に悩む声も聞かれます。大人が管理するだけでなく、「どうすれば自分に合うやり方で改善できるか」を親子で話し合い、子どもたちが自らの生活を前向きに整えていける「自己調整力」を養っていけるよう、学校と家庭とが連携していきたいと考えています。

【自己肯定感について】児童アンケート1・2・3、保護者アンケート4

川北町全体的に子どもたちの自己肯定感が低い傾向にあります。本校児童も他の設問に比べ、低い数値となっています。一方、「児童会活動、委員会活動、学級活動において、力を合わせてよりよい学校・学級づくりに進んで取り組めた」という設問には95.9%の子が肯定的回答をしています。何事にも進んで取り組める前向きな子どもたちではありますが、自分には厳しい目を持っているようです。

保護者アンケートからも、家庭でお子さんのよいところを認め声かけしてくださっていることが伺えます。自己肯定感を高めるには、他者からの評価以上に、自分自身で「失敗しても次はできた」「友だちに優しくなれた」などと、納得できた経験の積み重ねが大切です。学校では、子どもたちが日々の活動の中で自分に満足し、自信を積み重ねていけるような教育活動を推進していきます。

【あいさつについて】児童アンケート5、保護者アンケート2

子どもたちは、およそ90%の子が「すすんであいさつしている」と回答しています。しかし、保護者の回答では、75%程度が肯定的な回答となっています。子どもたちは、進んであいさつに取り組んでいると感じていても、保護者の皆様からは、「まだ足りない」と感じている部分があるようです。日頃、見守り隊やPTAの皆様から温かな声をかけていただいていることに感謝し、学校ではその有り難さを改めて伝えていきます。「自分から挨拶して、喜んでもらった」という手応えを、家庭や地域での主体的な挨拶に繋げていきます。

学校関係者評価委員会からのご意見

3月2日（月）学校関係者評価委員会がありました。学校の取組や学校アンケート結果等をもとに第三者からのご意見や助言をいただき、今後の改善策の見直し等を行います。評価委員の皆様からいただいたご意見は以下の内容です。

- ・子どもたちの様子を見ると、しっかり話を聞くことができ、根気よく学習や活動に取り組んでいる。学校と家庭の指導が行き届いていると感じる。
- ・体力がないこと、ケガが多いことが気になる。持久力等を付けるためにも、外遊びが大切だと感じる。
- ・先生方をはじめ、外部の講師の方、CSサポーターの皆さんに支えられて、充実した授業を受けていることを感じた。
- ・縦割りの活動が多いからか、学年の上下の区別なく遊べる子が多い。
- ・スマホの使用、所持については、各家庭の親子でよく考え、話し合っていくことが大事。友達を持っているからと言って、安易に渡すものではないだろう。SNSなどについても、功罪の面について正しい知識を理解した上で使用するか、しないかについて、各家庭で判断できるようになってほしい。親子で話し合う機会をもつためにも、非行被害防止講座などの機会を利用して、親と子が共に学び、話す時間を設けるとよい。

今年度も記述でのご意見も多数いただきました。ご指摘だけではなく、温かい励ましや本校の教育活動を後押ししてくださるご意見もありました。ありがとうございます。

学校アンケート結果および学校評価委員会でのご意見は、今後の学校教育活動の改善につなげてまいります。今後ともご理解ご協力をお願い致します。